

神

忍耐する者と神

五良言

ヤコブ

1 神と主イエス・キリストのしもべヤコブが、国外に散っている十二の部族へあいさつを送ります。

2 私の兄弟たち。さまざまに試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。

3 信仰がためられると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。

4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。

5 あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきつと与えられます。

6 ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。

7 そういう人は、主から何かをいただけると思つてはなりません。

8 そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。

9 貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇りとしなさい。

10 富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持ちなさい。なぜなら、富んでいる人は、草の花のように過ぎ去って行くからです。

11 太陽が熱風を伴って上って来ると、草を枯らしてしまします。すると、その花は落ち、美しい姿は滅びます。同じように、富んでいる人も、働きの最中に消えて行くのです。

12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。

13 だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言つてはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。

14 人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。

15 欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。

悪の誘惑、忍耐、天国へ完全人

誘惑、死

富と誇り、貧乏の誘惑に耐え抜く

死

富と誇り

むくいことに誇り

うたがう

16 愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。17 すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。18 父はみこころのままに、真理のこころばをもつて私たちをお生みになりました。私たちを、いわば被造物の初穂にするためなのです。

19 愛する兄弟たち。あなたがたはそのことを知っているのです。しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。

20 人の怒りは、神の義を実現するものではありません。21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみこころばを、すなおに受け入れなさい。みこころばは、あなたがたのたましいを救うことができます。

22 また、みこころばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であつてはいけません。23 みこころばを聞いても行なわない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。24 自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようなであつたかを忘れてしまいます。

25 ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れられる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。

26 自分は宗教に熱心であると思つても、自分の舌にくつわをかけず、自分の心を欺いているなら、そのよう

な人の宗教はむなししいのです。27 父なる神の御前でよく汚れのない宗教は、孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることです。

(おまへさん)

① 信仰の試練に耐え抜いて完全な者とす。(誘惑に負けるにせよ)

おまへさん、完全な賜物、完全な律法

② 御父から受け取らるみこころばは、さういふ行なふこと。(律法)

真理のみこころばは、み父から賜はる。自由の律法から授けらる。みこころばを実行せよ。

自由の律法とみこころば

み父から受け取らるみこころばは、真理のみこころば。自由の律法から授けらる。みこころばを実行せよ。きよく守る。

おまへさん - みこころばを用いて行なふこと

2兄弟

2

1 私の兄弟たち。あなたがたは私たちがの栄光の主イエス・キリストを信じている信仰を持っているのですから、人をえごひいきしてはいけません。

2 あなたがたの会堂に、金の指輪をはめ、りっぱな服装をした人がはいつて来、またみすばらしい服装をした貧しい人もはいつて来たといいます。

3 あなたがたが、りっぱな服装をした人に目を留めて、「あなたは、こちらの良い席におすわりなさい。」と言、貧しい人には、「あなたは、そこで立っていなさい。でなければ、私の足もとにすわりなさい。」と言うとすれば、

4 あなたがたは、自分たちの間で差別を設け、悪い考え方で人をさばく者になったではありませんか。

5 よく聞きなさい。愛する兄弟たち。神は、この世の貧しい人々を選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束されている御国を相続する者とされたではありませんか。

6 それなのに、あなたがたは貧しい人を軽蔑したのです。あなたがたをしたげるのは富んだ人々ではありませんか。また、あなたがたを裁判所に引いて行くのも彼らではありませんか。

7 あなたがたがその名で呼ばれている尊い御名をけがすのも彼らではありませんか。

8 もし、ほんとうにあなたがたが、聖書に従って、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行ないはりっぱです。9 しかし、もし人をえごひいきするのなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。

10 律法全体を守っても、一つの点でつまずくなら、その人はすべてを犯した者となったのです。

11 なぜなら、「姦淫してはならない。」と言われた方は、「殺してはならない。」とも言われたからです。そこで、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者となったのです。

12 自由の律法によってさばかれる者らしく語り、またそのように行ないなさい。

13 あわれみを示したことの無い者に対するさばきは、あわれみのないさばきです。あわれみは、さばきに向かつて勝ち誇るのです。

自由の律法とあわれみ

自由の律法とあわれみ

ヤコブ

信仰と愛とあわれみ

貧しい人に愛とあわれみが、人をえごひいきする。貧しい者と差別する。

人をえごひいきするから律法を違反する。(律法を守る)

えごひいき X さばき

(神と愛あり)

貧しい者には信仰と愛とあわれみが、人をえごひいきする(貧しい者と差別する)

人をえごひいきする。律法を違反する。(隣人を愛し) さばきと愛は、あわれみと

義人の施し

自分をさばく

対抗手

行ないの悪い信仰は役に立たない。死んだ。死んでい子。

行ないの悪い信仰には、死は死んだ。義人とあわれみ。死んでい子。

死

10人を殺す。使者を殺す。

悔改の行ない X 死。自分をさばく。人にえごひいきする

役に立たない信仰

14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行ないがないなら、何の役に立ちましよう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。

15 もし、兄弟また姉妹のだけれど、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、16 あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい。」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。

17 それと同じように、信仰も、もし行ないがなかったなら、それだけでは、死んだものです。18 さらに、こう言う人もあるでしょう。「あなたは信仰を持ってはいるが、私は行ないを持っています。行ないのないあなたの信仰を、私に見せてください。私は、行ないによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。」

19 あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。20 ああ愚かな人よ。あなたは行ないのない信仰がむなししいことを知りたいたいと思いませんか。

21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげたとき、行ないによって義と認められたではありませんか。

22 あなたの見ているとおり、彼の信仰は彼の行ないとともに働いたのであり、信仰は行ないによって全うされ、

23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた。」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

24 人は行ないによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。

25 同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行ないによって義と認められたではありませんか。

26 たましいを離れたからだが、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。

施し

支配し強いたまふことこそ

良善を区別する。支配して。

ヤコブ

3

1 私の兄弟たち。多くの者が教師になつてはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けるので

2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。

3 馬を御するために、くつわをその口にかけると、馬のからだ全体を引き回すことができます。

4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持つて行かれるので

5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言つて誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火がある

6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。

7 どのような種類の獣も鳥も、はうものも海の生き物も、人類によって制せられるし、すでに制せられています。

8 しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじつとしていない悪であり、死の毒に満ちています。

9 私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどつて造られた人

10 賛美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あつてはなりません。

11 泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせると

12 私のようなことがあるでしょうか。

13 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりする

14 ようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。

詩12. 詩19. ニ枚舌 コラムの舌

みとばさる みとばさる

欲望を正す。上からその恵みのよ。

悪から救はれよ。

13 あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行ないを、良い生き方によって示しなさい。

14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇つてはいけません。真理に逆らつて偽ることになります。

15 そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。

16 ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行ないがあるからです。

17 しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないもので

18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちには蒔かれます。

4 何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いがあるのでしょうか。あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか。

2 あなたがたは、ほしがつても自分のものにならないと、人殺しをするのです。うらやんでも手に入れることができないと、争ったり、戦ったりするのです。あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わな

3 願つても受けれられないのは、自分の快樂のために使おうとして、悪い動機で願うからです。

4 貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりた

5 5 それとも、「神は、私たちのうちに住ませた御霊を、ねたむほどに慕つておられる」という聖書のことばが、無意味だと思つたのですか。

6 しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」

7 ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。

9 あなたがたは、苦しみなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。

悪魔の敵対。平和。神vs悪

願う-至にふす

世を愛し神の敵とはなす。神が御前でへり下り、高き山を

敵対心を捨て、上からの知恵に於て平和を成す

互いに悪口を言い、伊波とさばり、高ぶる者、主の日に死、自分をさばり、

7

悔い改め、高ぶる者、主の日に死、自分をさばり、

自分をさばり、

主の日に、山6:19

ヤコブ

11 兄弟たち。互いに悪口を言い合ってはいけません。自分の兄弟の悪口を言い、自分の兄弟をさばく者は、律法の悪口を言い、律法をさばっているのです。あなたが、もし律法をさばくなら、律法を守る者ではなくて、さばく者です。

12 律法を定め、さばきを行なう方は、ただひとりであり、その方は救うことも滅ぼすこともできます。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。

13 聞きなさい。「きょうか、あす、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をして、もうけよう。」と言っている人々。

14 あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現われて、それから消えてしまふ霧にすぎません。

15 むしろ、あなたがたはこう言うべきです。「主のまこところなら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。」

16 ところがこのとおり、あなたがたはむなし、誇りをもって高ぶっています。そのような高ぶりは、すべて悪いことです。

17 こういうわけで、なすべき正しいことを知っていないが、行なわれないなら、それはその人の罪です。

5 泣き叫びなさい。あなたがたの富は腐っており、あなたがたの着物はお虫に食われており、

3 あなたがたの金銀にはさびが来て、そのさびが、あなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食いつくします。あなたがたは、終わりの日に財宝をたくわえました。

4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。そして、取り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。

5 あなたがたは、地上でせいとくに暮らし、快樂にふけり、殺される日にあたって自分の心を太らせました。

6 あなたがたは、正しい人を罪に定めて殺しました。彼はあなたがたに抵抗しませんでした。

7 こういうわけですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待っています。

8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。

役に立たない財産。

悪口をさばく。

8

主の御名。

9 兄弟たち。互いにつぶやき合ってはいけません。さばかれるためです。見なさい。さばきの主が、戸口のところに立っておられます。

10 苦難と忍耐については、兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。

11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いであると、私たちは考えます。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いています。また、主が彼になされたことの結末を見られたのです。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられる方だということです。

12 私の兄弟たちよ。何よりもまず、誓わないようにしなさい。天をさしても地をさしても、そのほかの何をさしてもです。ただ、「はい。」「はい。」「はいえ。」を「いいえ。」としなさい。それは、あなたがたが、さばきに会わないためです。

13 あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。

14 あなたがたのうちに病気の人がいますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。

15 信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。

16 ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働く、大きな力があります。

17 エリヤは、私たちと同じような人でしたが、雨が降らないように祈ると、三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。

18 そして、再び祈ると、天は雨を降らせ、地はその実を実らせました。

19 私の兄弟たち。あなたがたのうちに、真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すようなことがあれば、

20 罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたましいを死から救い出し、また、多くの罪をおおうのだということを、あなたがたは知っていないなさい。

互いに祈りに祈り、兄弟の罪が赦されるのを待ち、罪人を迷いの道から救い出せ。

互いに祈りに祈り、兄弟の罪が赦されるのを待ち、忍耐に待ちあせす。

富む者、高ぶる者、互いに悪口を言い、伊波とさばり、高ぶる者、主の日に死、自分をさばり、

互いに祈り。

- 4:11-12
- 13-17
- 5:1-6
- 7-8
- 5:9-11
- 12-15
- 16-18
- 19-20